

# ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成14年 **2002.3**

月刊アカンサスニュース  
金沢大学広報紙 第66号

## 小和田恒元国連大使が講演

TOPNEWS



2月5日、金沢大学第4回外交講座が開かれ、小和田恒元国連大使が「9・11事件をめぐる国際法的考察」と題して講演した。次代を担う学生、大学院生に流動する国際情勢や外交問題について理解を深めてもらうことを目的として実施されたもので、会場となった文・法・経済学部棟A101教室には学生、教職員ら約200名が出席した。



講演する小和田元国連大使  
=文・法・経済学部棟A101教室で

## 入学者選抜試験を実施

平成14年度金沢大学入学者選抜試験が、2月25日(前期日程)及び3月12日(後期日程)の日程で実施された。



試験開始を待つ受験者  
=2月25日、文・法・経済学部A101号室で

## 巻頭言

### 法科大学院入試と新司法試験



法学部長  
中島 史雄

日本弁護士連合会によると、法科大学院の設置を検討している大学は2月現在56にのぼるといふ。まさに大学の格付けと法学部の生き残りをかけた競争といえよう。

昨年6月に公表された司法改革審議会の最終意見書によれば、2004年4月に開設される法科大学院は、これまでの大学における法学教育と法律実務の乖離及び司法試験予備校とのダブル・スクール現象という弊害を除去するため、法学部出身者はもとよりそれ以外の学部で幅広い教養教育を受けた者や社会人をも積極的に受入れ、原則3年間（法学既習者は2年間）の集中教育により法曹（裁判官・検察官・弁護士）をめざす有為な人材を育成しようとするものである。

法科大学院の入学志願者に対しては、すべての出願者に対して全国統一適性試験が課される。これは、法律学の知識ではなく、法科大学院における履修の前提として要求される判断力、思考力、分析力、表現力の資質を試す目的で実施される。必要に応じて小論文や面接を実施し、それら

の結果と、学業成績および学業以外の活動実績等を総合判断して合格者が決定される。2年修了希望者については、さらに法律学の基礎的学識を有するか否かを判定するための法律科目試験が課される。

法務省は、2005年から実施する新司法試験については、現行の択一、論文、口述の3段階試験を論文試験に一本化し、細かい法律知識よりも法律に基づいた思考ができるかを合格基準とする法案を次期通常国会に提出する。各法科大学院は、定員の7、8割を合格させる厳格教育を要請されている。

したがって、法科大学院を視野に入れる学生は、大学の授業を中心に基本6法および応用科目をしっかりと学習するほか、周辺の教養的科目および外国語などのほか、インターンシップやボランティア活動にも積極的に取り組む必要がある。

法学部としても4月の新入生からカリキュラムを全面改定し、法学科法律実務コースでは、法科大学院の2年短縮型課程へ進学すべく、6法科目については原則必修にして基礎勉学を徹底的に行うよう図っている。他方、法学科国際法務コースおよび公共システム学科においては、必修科目の軽減を図るとともに実務家による講義を開設して、企業・公務員・パラリーガル・非営利団体等学生の進路ニーズに対応したきめ細かいカリキュラムを実施する。

## 目次

小和田恒元国連大使が講演……………	1	平成13年度着手の大学評価に係る説明会が	
入学者選抜試験を実施……………	1	開催される……………	8
巻頭言「法科大学院入試と新司法試験」		附属病院 シンポジウム	
法学部長 中島 史雄……………	2	「チーム医療を行うために－他部門の理解と連携－」…	9
経済学部で外部点検評価を実施……………	3	全国国立大学企画広報担当課長室長等	
セクシュアル・ハラスメント防止等研修会を開催……………	3	情報交換会を開催……………	9
「生きる力」を育む野外教育の推進を		「金沢大学社会教育主事フォローアップ研修	
－シンポジウムひろく－……………	4	在り方検討会」を開催……………	10
地域と共に歩む大学を目指して		安全の願いを込めて植樹……………	10
まなびピア石川2002イベントを開催……………	4	ミニ講演会「ロボットに心はもてるか」……………	11
附属図書館 図書自動貸出返却装置が稼働……………	5	角間の里山自然学校 雪上のケモノの足跡観察会……………	11
第2回研究調査部公開講演会……………	5	南極だより……………	11
平成14年4月設置 自然計測応用研究センター……………	6	留学生 人形浄瑠璃とスキーに親しむ……………	12
平成13年度文部科学省大学等地域開放特別事業		編集後記……………	12
祖父母と父母の小・中学校理数科教室……………	7		
男女共同参画社会を目指して			
「わいわいワークショップ」……………	8		

## ニュースの杜

## 経済学部で外部点検評価を実施



経済学部外部点検評価の質疑応答  
=文・法・経済学部第1会議室で

2月9日、経済学部では、田中勝人一橋大学大学院教授をはじめ6名の外部評価委員による外部点検評価が実施された。

はじめに、伍賀一道教授、田口直樹助教授及び中島健二助教授から自己点検評価の結果や課程制の導入を志向する将来構想について説明があり、質疑応答の後、委員から講評が述べられた。

## セクシュアル・ハラスメント防止等研修会を開催

2月5日、大学におけるセク・ハラ問題に焦点をあてたセクシュアル・ハラスメント防止等研修会が開かれ、教職員約60名が参加した。

林勇二郎セク・ハラ防止委員会委員長(学長)のあいさつに続き、土屋純一同委員会委員(文学部長)が「国立学校におけるセク・ハラ防止の取組状況等について」、鴨野幸雄総括相談員(法学部教授)が「セク・ハラ裁判の動向及びアンケート調査の結果について」、木村敦子セク・ハラ相談員(保健管理センター講師)が「セク・ハラ相談員としての心構えについて」と題してそれぞれ解説及び意見を述べた。



小冊子  
『金沢大学セクシュアル  
ハラスメント  
アンケートから』



解説する土屋委員  
=事務局大会議室で



鴨野総括相談員



木村セク・ハラ相談員

## ニュースの杜

### 「生きる力」を育む野外教育の推進を -シンポジウムひらく-

2月2日、県立社会教育センターで教育学部と県教育委員会の共催による平成13年度野外教育推進シンポジウムが開催され、県内の教育関係者など約120名が参加した。

まず、高校生からブラジリアマゾン大自然体験などの発表があり、続いて山田誠神戸市外国語大学教授が「野外教育に期待するもの」と題して講演した。また、シンポジウムは「『生きる力』を育む野外教育」をテーマに、鈴木漠大学教育開放センター教授の司会により進められた。



シンポジウムの様子。左は鈴木大学教育開放センター教授  
＝県立社会教育センターで



あいさつする杉本幹博教育学部長

### 地域と共に歩む大学を目指して まなびピア石川2002プレイベントを開催



講演する小出北海道大学大学院教授

2月23日、金沢市西町教育研修館（金沢大学サテライト・プラザ）3階で大学教育開放センターが主催して、「生涯学習時代に地域と大学をつなぐ－まなびピア2002プレイベント－」を開催し、約60名が出席した。

小出達夫北海道大学大学院教授の講演「生涯学習時代における大学の社会貢献」に続き、「生涯学習時代に地域と大学をつなぐ－地域と共に歩む大学を目指して－」をテーマとするシンポジウムが行われた。

あいさつする鈴木教授（右）とシンポジウムコーディネーターを務めた浅野秀重助教（左）  
＝金沢市西町教育研修館3階集会室で

## ニュースの杜

## 附属図書館 図書自動貸出返却装置が稼働



設置された図書自動貸出返却装置。右から2人目は和田敬四郎附属図書館長  
＝附属図書館カウンター前で

2月1日、附属図書館（中央館）1階に図書自動貸出返却装置が設置された。これにより、磁気カード式学生証や図書館利用券で貸出カウンターを通さずに図書の貸出・延長・返却手続きができる。カウンターの混雑解消や利用者のプライバシー保護など、図書館サービスが向上した。

## 第2回研究調査部公開講演会

2月19日、教養教育機構研究調査部の主催により「2001年度第2回研究調査部公開講演会」が総合教育棟会議室で開催され、教職員25名が参加した。

講師に<sup>あさ</sup>長安六佐賀大学教授・地域経済研究センター副センター長を招き、「地域に根ざした大学の教育・研究とは－佐賀大学の若手教官が描くもの－」をテーマとする講演が行われ、大学と地域との連携などについて提言があった。



講演する長佐賀大学教授  
＝総合教育棟会議室で

## 新 学内共同教育研究施設

### 平成14年4月設置 自然計測応用研究センター

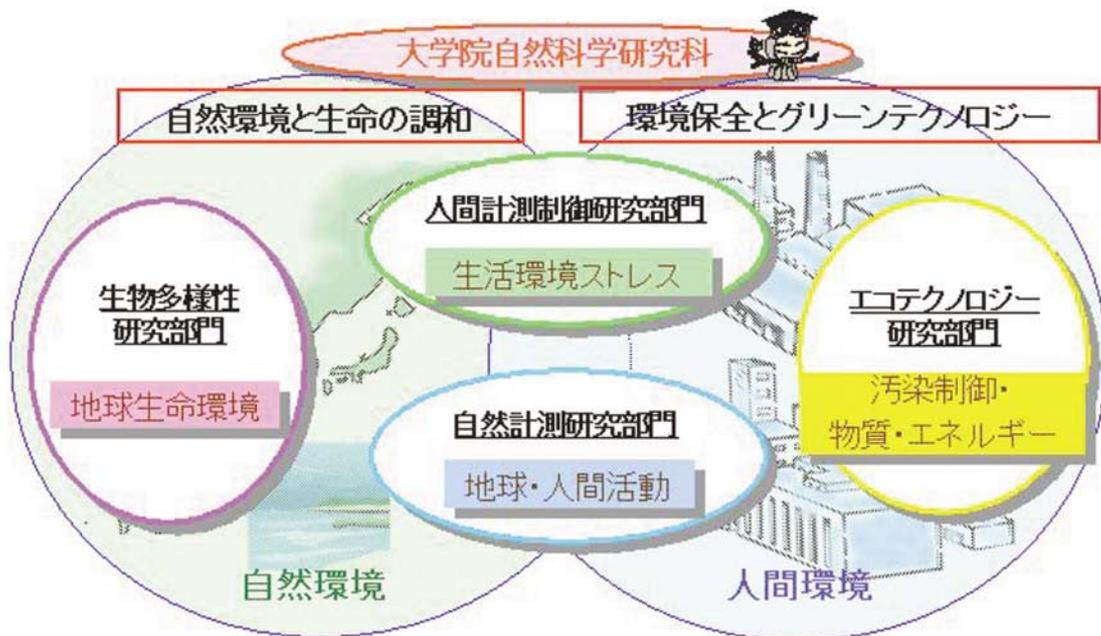
地球の温暖化や内分泌かく乱物質による汚染等の環境問題の解決には、広く地球という観点からの対処が必要となる。平成14年4月に新しく設置される自然計測応用研究センターは、放射能計測及び電磁場応用という他の機関では見られない切り口で研究を展開するという特徴を持っている。白山山系というモニタリングサイトとして絶好の地理的条件を活かし、理学部及び工学部において自然計測応用研究に携わる教官の参加によって、部門の垣根を越えた研究を発展させ、その成果を環境問題解決に活用することを目的としている。

#### 設置前（現行）

理学部附属低レベル放射能実験施設，工学部附属電磁場制御実験施設，理学部附属臨海実験所，理学部附属植物園，理学部及び工学部において自然計測応用研究を行う教官の参加

#### 設置後

### 自然計測応用研究センターの新設



#### 期待される成果

- ・ 極低レベル放射法計測システム開発による高解像度の環境計測と新研究手法の開拓
- ・ エコエネルギーの利用技術の研究
- ・ 日本海域における生物多様性の進化・共生・動態機構の解明
- ・ 生活環境ストレスの生体反応計測と生体機能適応反応限界の研究
- ・ 国家間共同研究の推進

## ふれあいづくり

### 平成13年度文部科学省大学等地域開放特別事業 祖父母と父母の小・中学校理数科教室



第1回

顕微鏡を用いて植物細胞や火山灰を観察  
=2月9日, 金沢大学サテライト・プラザで

2月9, 16, 23日の3日間にわたり, 金沢大学サテライト・プラザと教育学部附属小学校において, 「祖父母と父母の小・中学校理数科教室-孫と祖父母の会話とふれあいづくり-」が開催された。これは, わかりやすい講義や実験を通して学校教育の最前線を体験し, 子どもとの会話やふれあいを創り出すことを目的とするもので, 開催にあたっては金沢子ども科学財団の特別協力を得た。

講師と主な内容

- 第1回 (2月9日)  
講師: 山本秀紀金沢市立港中学校教諭  
内容: 顕微鏡による観察, 極低温の世界, 気体の性質と発生
- 第2回 (2月16日)  
講師: 才鷹一博教育学部附属小学校教諭  
小林弘二教育学部附属小学校教諭  
内容: 算数講義, コンピュータ実習
- 第3回 (2月23日)  
講師: 新保修金沢市立諸江小学校教諭  
内容: 熱の伝わり方, 季節の星座, 化石の模型作り



第2回

算数講義-三角形を敷き詰めて,  
内角の和を足し算しよう-  
=2月16日, 教育学部附属小学校で



第3回

星座早見盤を作り, 「冬の大きな三角形」などを調べる  
=2月23日, 金沢大学サテライト・プラザで



温度変化に反応するサーモテープを  
金属板に貼り, 熱の伝わり方を実験  
=2月23日

## トピックス

男女共同参画社会を目指して  
「わいわいワークショップ」

解説する八重澤教授  
=金沢市職員センターで



宇田川助教授

2月23日、金沢市職員センターで平成13年度男女共同参画社会をめざす意見交換会「わいわいワークショップ」が開催され、市民等約40名が参加した。

八重澤美知子留学生センター教授と宇田川妙子文学部助教授がコーディネーターを務め、「国際社会を視野に入れた男女共同参画の推進」などのテーマについて討議された。

## 平成13年度着手の大学評価に係る説明会が開催される

2月20日、工学部秀峯会館で、大学評価・学位授与機構による「平成13年度着手の大学評価に係る説明会」が開催され、東海・北陸地区の国立大学教職員など約100名が出席した。

館昭同機構評価研究部教授が自己評価の実施方法などについて説明した後、約1時間にわたって質疑応答が行われた。



説明する大学評価・学位授与機構担当者  
=工学部秀峯会館で

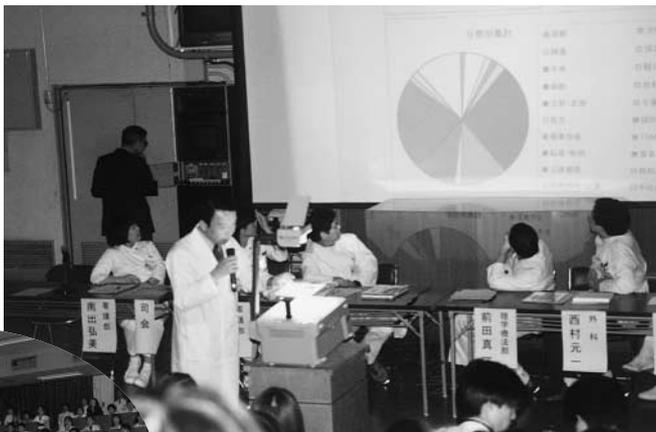


## トピックス

### 附属病院 シンポジウム 「チーム医療を行うために －他部門の理解と連携－」

1月16日、医学部附属病院は、医療事故防止の研修の一環として初のシンポジウム「チーム医療を行うために－他部門の理解と連携－」を開催し、教職員約370名が出席した。

シンポジウムでは、内科、外科の医師、検査技師、放射線技師、理学療法士、薬剤師、看護婦、栄養士の計8名のパネリストが、医療事故につながる事例について発表した。その後、未然防止について、参加者を含めて意見交換が行われた。



医療事故防止についての発表  
＝医学部臨床第1講義室で

### 全国国立大学企画広報担当 課長室長等情報交換会を開催

2月7、8日、全国で初となる全国国立大学企画広報担当課長室長等情報交換会が金沢大学サテライト・プラザで開催され、83国立大の担当者が出席した。

はじめに寺井嘉治企画広報室長が開催に至る経緯を報告し、水上修一事務局長が開会のあいさつを述べた。吉田靖文部科学省大臣官房総務課広報室長が「広報・報道事務の改善に向けて」と題して講演し、続いて、横国大、愛媛大、名大、東大、阪大、金大の担当者が事例発表した。その後、村山真人(株)文教ニュース社取締役企画部長が提言・講演した。8日には寺島恒機金沢錦丘高等学校長が「変わる高等学校－これからの大学に期待する－」と題して講演した。

なお、この会は今後継続して開催していくことが確認された。



講演する吉田文部科学省広報室長  
＝2月7日、金沢市西町教育研修館3階集会室で



水上事務局長



村山取締役企画部長



寺島校長



全国から83国立大の担当者が出席した

## トピックス

## 「金沢大学社会教育主事 フォローアップ研修在り方検討会」を開催



社会教育主事のための研修の在り方などについて討議した  
＝大学教育開放センターで

2月14、15日、大学教育開放センターが主催して「金沢大学社会教育主事フォローアップ研修在り方検討会」が開催された。

伊藤俊夫日本生涯学習総合研究所理事、手打明敏筑波大学教授による講演の後、2日間にわたって検討会が開かれた。進行は鈴木大学教育開放センター教授、浅野同助教授が務めた。



伊藤理事

## 安全の願いを込めて植樹

2月2日、昨年5月にバイク事故により亡くなった榊原学君（当時医学部3年生）の慰霊として、遺族や大学教職員、友人らにより医学部校内にハクモクレンが植樹された。



故榊原君の慰霊として植樹されたハクモクレン  
＝医学部基礎南研究棟前で

## サテライト・プラザ

### ミニ講演会 「ロボットに心はもてるか」

2月2日、金沢大学サテライト・プラザで一般市民を対象にミニ講演会が開かれ、約20名が聴講した。柴田正良文学部助教授が「ロボットに心はもてるか」と題して講演した。



講演する柴田助教授  
=金沢大学サテライト・プラザで

### 角間の里山自然学校 雪上のケモノの足跡観察会

2月24日、角間の里山自然学校では、一昨年から3回目となる雪上のケモノの足跡観察会を開催し、16名が参加した。

山本茂行富山市ファミリーパーク飼育課長を講師に招き、里山を歩きながら、ウサギ、タヌキ、キツネなどの足跡の見分け方や、動物の行動を推理するなど、楽しい解説を聞いた。



キツネの足跡



ケモノの足跡を見ながら山本飼育課長（中央）の説明を聞く参加者  
=角間の里山自然学校で

### 南極だより

『105日間（10月25日～2月6日）の内陸旅行を済ませ、無事「しらせ」に帰ってくる事が出来ました。ドームふじでは、-55度を下回る世界での作業も体験しました。日本には、3月下旬に到着します。みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。』

久保栄南極観測越冬隊員（技術支援センター技術専門職員）から。



久保南極観測越冬隊員  
=南極で

## 留学生 人形浄瑠璃とスキーに親しむ

2月15、16日、平成13年度金沢大学外国人留学生スキー講習会・交流行事が尾口村で実施された。初日には東二口歴史民族資料館で重要無形文化財である人形浄瑠璃を鑑賞し、演者とも交流を深めた。

また、2日目には白山一里野温泉スキー場でスキーを楽しんだ。



人形浄瑠璃に親しむ留学生  
＝東二口歴史民族資料館で



晴天に恵まれたスキー講習会。初心者から上級者まで白銀の斜面を滑走  
＝白山一里野温泉スキー場

### 編 集 後 記

2月21日に出された中央教育審議会答申「大学等における社会人受入れの推進方策について」の附属参考資料の中で、「サテライト公開講座の取組例」として「金沢大学サテライト・プラザ」の活動状況が紹介されました。「サテライト」と言えば金沢大学をイメージしてもらえよう、今後とも努力していきたいものです。

一方、「国立大学等の独立行政法人化に関する調査検討会議」は、3月26日、新しい「国立大学法人」像について最終報告を公表する予定であり、本学も否応なしに平成16年4月の法人化に向けて準備を開始しなければなりません。学生、市民、患者等利用者を大切にす新しい金沢大学像を思い描くとき、「サテライト」の取組みは大いに参考になるでしょう。

(総務部企画広報室専門員・大学改革推進室事務室 西谷 公作)

平成14年3月15日発行  
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町  
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5009  
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))  
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。  
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = [general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp](mailto:general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp) でも受け付けています。